





## 高市総理が英断！ 令和8年度診療報酬改定 30年ぶりの 「プラス3.09%」の大幅改定！

政府が昨年12月に決定した来年度予算で、令和8年度診療報酬改定の本体部分の引き上げ率をプラス3.09%と、1996年度の3.4%以来30年ぶりの大幅改定となった。当初1%台の改定率に収めようとしていた財務省に対し、医療界と自民党議員の強力な後押しにより最終的に高市総理の英断となった。



松下幸之助が教えてくれた  
**日本復活**  
のために大切なこと

私の原点はここにある  
高市早苗

高市早苗さんも推薦!!  
山田宏の最新刊  
「松下幸之助が教えてくれた日本復活のために大切なこと」  
1月21日に産経新聞出版より発売されます!



### 決議

現在、物価・賃金の上昇に対し、医療、介護、障害福祉サービスの報酬水準が追い付いておらず、医療機関・介護施設・障害福祉施設は著しく経営状況が逼迫している。その結果、サービスの安定的な提供が揺らぎ、国民が適切な医療、介護、障害福祉サービスを受けられない事態が発生している。医薬品業界においても毎年改定、物価高騰等の影響により、新薬の開発や医薬品の安定供給に支障が生じている。

こうした状況を受け「骨太の方針 2025」においては、医療・介護・障害報酬を始めた必要な対策において、物価・賃金の上昇による影響等について、経営の安定や幅広い職種の方々の賃上げに確実につながるよう的確に対応を行うとの方向性が示され、さらに、令和7年度補正予算においては、医療・介護・障害福祉を総合的に支援するパッケージとして総額1兆3,649億円が計上され、特に医療機関の賃上げ・物価高騰対策、医療提供体制の確保等が実施された。

しかしながら、補正予算はあくまで「現状の赤字補填」が中心である。賃上げや物価高騰に本格的に対応することを見据え、高市政権において初の改定となる令和8年度診療報酬改定、介護・障害福祉サービス等報酬改定において、現場の思いを確実に反映するため、下記の対応を求める。

1. 医療機関が経営を安定させ物価高騰に対応できるよう、離職防止、人材確保を可能とする賃上げ環境を整えること。
2. 具体的には、令和8年度報酬改定において、現役世代の保険料負担抑制にも配慮しつつ、令和7年度補正予算に盛り込まれた医療機関等への支援効果を減らすことなく継承し、その上で今後の物価上昇・賃金増を反映し、デフレ下とは異なる新たな経済動向にふさわしい大幅なプラス改定とすること。また、創薬方向上・医薬品安定供給に配慮しつつ、必要十分な改定を行うこと。
3. 令和8年度介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定においては、介護・障害福祉従事者について、他産業平均と遜色ない賃金水準となるよう、令和7年度補正予算を上回る賃上げを行うこと。また、介護・障害福祉サービス等事業者の経営の安定に確実につながるよう、引き続き物価高騰の対応を行うこと。
4. 令和9年度は介護報酬、障害福祉サービスの報酬の改定が実施年であり、診療報酬についても、賃金・物価上昇等を踏まえ、報酬を機動的に調整する対応が可能となるような仕組みを実施すること。

以上、総意として、決議する。

令和7年12月18日 社会保障を守る会

↑資料2 「社会保障を守る会」決議文

### 科学的研究の実施を要望

山田議員  
山田宏参議院議員写真集IIは、20日の厚生労働委員会「社会保障及び労働問題等に関する調査(大臣所信に対する質疑)」を行った。山田議員は、労働安全衛生法で定められている一般健診の検査項目への歯科の追加について、厚労省からは、検討会で「エビデンスが乏しいと判断された」という結果が出たとして、普及啓発を強化していく方向性を説明した。これに対して山田議員はエビデンス構築のための科学的研究の実施を求めた。

平均賃金の改定率は「医療・福祉」では2.3%と認識している。

山田 消費者物価指数と賃金上昇指数について、過去、同等の伸びのあった年をあげていただきたい。

山田 同等水準の伸び率を示した年として、1982、1987、1991、1995年がある。

山田 提示いただいた年の統計直後の診療報酬改定率は、令和7年度は2.8%、令和8年度は3.4%、令和9年度は3.4%となっている。

山田 それらの年に対して、5%だったのに対して、



- (1)「骨太方針2025」に盛り込む  
令和7年6月  
自民党の医療系国会議員が中心となって4月18日に開かれた「医療・介護・福祉の現場を守る会」決起大会で、物価高・人件費増に見合う大幅な診療報酬改定を決議。「骨太方針2025」に「次期診療報酬改定に向けて、医療機関の経営状況、賃金・物価動向等を踏まえ、持続可能な医療提供体制の確保に向けた検討」との文言が盛り込まれる。
- (2)厚生労働委員会で最低4%のプラス改定を強く主張  
令和7年11月  
11月20日の厚生労働委員会で、高市内閣誕生後初めての質問に立ち、上野厚労大臣に過去の物価や賃金上昇率などを引き合いに「最低4%のプラス改定が必要」と強く主張(質疑写真・資料1)
- (3)自民党国民歯科問題議員連盟として高市総理への申し入れ  
令和7年12月5日  
二面の申し入れ書をご参照ください。
- (4)「社会保障を守る会」緊急集会開催  
令和7年12月18日  
決議文(資料2)を高市総理に手交。
- (5)高市総理が令和8年度診療報酬改定率(本体)を3.09%とすることを裁定  
令和7年12月19日

「山田宏のYouTubeチャンネル」  
(毎週土曜日配信)  
月1回歯科のテーマでお話します。



「山田宏のデンタルマガジン」  
月2回配信中!



山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、YouTubeでご紹介しています

山田宏公式サイト: [www.yamadahiroshi.com](http://www.yamadahiroshi.com)  
山田宏公式Facebookページ:  
<https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/>  
山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo



お問い合わせはこちらにお願いいたします。  
**山田宏 国会事務所**  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1205号室  
Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205

山田宏(やまだひろし)プロフィール(2025.12現在)

参議院議員  
自由民主党 副幹事長  
厚生労働部会部会長代理  
朝日大学歯学部 客員教授

昭和33年(1958年)1月8日生まれ。  
京都大学法学部卒業。  
松下政経塾第2期生。  
東京都議会議員(2期)・  
衆議院議員(2期)・杉並区長(3期)

山田宏よい国後援会  
歯科部会にお入りください!

「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いてまいります。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。

